



児童発達支援センターにこここ（センター長・笠大佑）は、地域で課題を持って生活する子どもやその家族への支援事業の中核的な施設として、平成28年4月に社会福祉法人光明童園が開設しました。現在は、102人の児童が利用しており、独立自活に必要な知識技能の習得や社会的スキルを身に付けるための活動を行っています。

児童発達支援センターは市内に同センターのみであり、保護者や学校の先生などの相談窓口にもなっています。相談内容は多岐に渡り、心理士などの専門の職員が丁寧に対応しアドバイスをします。

主な事業内容は、個々の発達に応じた課題に取り組み成長を促す「児童発達支援」、学校の放課後を利用して、少人数のグループで活動し社会的スキルを身につけるための「放課後等デイサービス」、要望に応じて同センターの専門職員が保育園や学校へ行き、対象児童の集団生活での状況を確認し保護者へ指導や助言などを行う「保育所等訪問支援」の3つ。特に「児童発達支援」は、運動面やコミュニケーションの発達に心配のある就学前の子どもに対し、保護者と一緒に遊びを通じた発達支援や衣服の着脱・歯磨きなどの身辺自立に向けた支援を行っており、一人一人にあった子育てを考え学ぶ「親子療育」が特徴です。

また、水俣・芦北地域の保育園、幼稚園、学校の先生を対象に定期的に研修会を開催しており、地域で課題を持って生活する子どもへの理解を深める一助になっています。来年度からは看護師の職員も採用予定。さまざまな専門の職員を配置し、より多くの子どもたちとその保護者を支援できるよう規模拡大にも力を入れていきます。

社会福祉法人光明童園 児童発達支援センターにこここ

所在地 水俣市平町1丁目3-3

設立 平成28年4月

従業員数 10人

事業内容 児童発達支援、放課後等デイサービス、保育所等訪問支援、地域療育センター、巡回支援専門員整備事業

ホームページ <http://www.nikoniko-nakama.com>



勤めている職員はみんな元気いっぱい！子どもや保護者が「来て良かった」と思う施設作りを職員一同目指しています。困り事があれば、何でも相談してください♪



明るく元気なスタッフ

児童発達支援センターにこここの4つの機能

- ① 高度な専門に基づく発達支援・家族支援（障がいの程度に関わらない相談対応）
- ② 地域の障害児支援事業所の質の向上（助言や会議・研修等の開催）
- ③ 地域のインクルージョンの中核機能（学校や保育園等を訪問して、誰もが過ごしやすい環境を設定）
- ④ 地域の発達支援に関する入口としての相談機能（子どもから大人まで幅広い相談への対応を行い、他の事業所や関係機関へ繋ぐ）



HP



Instagram